



文の京 (ふみのみやこ)

区報 ふんきょう

発行/文京区
編集/オリンピック・パラリンピック
担当
〒112-8555 文京区春日1-16-21
代表 ☎ (3812) 7111
<http://www.city.bunkyo.lg.jp/>

オリンピック・パラリンピック こども新聞

2019年(令和元年)
12月27日 第8号

- 各面の内容
- 2 フェンシング
 - 3 パラバドミントン
 - 7 男子チア 迫力満点

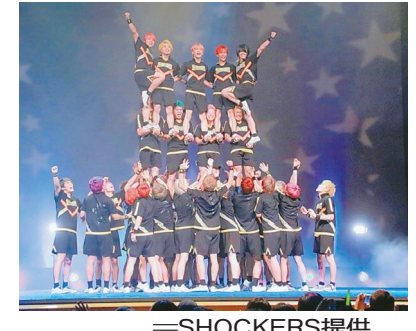
おりひめ 速い うまい



こども記者のインタビューを受ける日本代表の秋山なつみ選手(左端)、キルケリー監督(右から2人目)、多田仁美選手(右端)

味の素ナショナルトレーニングセンター(東京都北区)で11月17日、熊本県で開催される2019女子ハンドボール世界選手権大会に向けて練習するハンドボール女子日本代表(愛称・おりひめJAPAN)への取材を行いました。初めに、デンマーク代表選手とのミニゲームの様子を見学。デンマーク勢は身長が高く、日本を圧倒するものだと思っていました。相手の速いパス回しにも、しっかり対応できていました。文京スポーツセンターは東京2020大会のハンドボールの練習会場として使われます。(高2/K・S)

ハンドボール女子日本代表



—SHOCKERS提供

オリンピック・パラリンピックこども新聞は、こどもたちが記者になって取材や写真撮影に取り組み、みなさまにおとどける新聞です。

基本をしっかり、たくさん練習

私たちは、ハンドボール日本代表のウルリック・キルケリーさんと、多田仁美選手、秋山なつみ選手にインタビューしました。上手になるために、大切なことについて、多田選手は「基本をしっかりやること。つらくてもにげないこと」と答えてくれました。私は、バスケットボールを習っています。いつも、「基本練習をしっかりやりなさい」と言われます。基本があるから、応用したプレーができるのです。秋山選手は「だれよりも練習してきました。他の上手な人のプレーをみて、学ぶことも大切だと思います」と答えました。基本をしっかり、たくさん練習、人のプレーを見て学ぶという学んだことを生かして、バスケットを上達したいです。(小5/水島希)

松やに滑り止めに
僕たちは日本のトップ選手が集まる「味の素ナショナルトレーニングセンター」でハンドボール日本代表の選手を取材しました。コートの上からはシュートは入れにくいので、ディフェンス側は背の高い選手をコートの真ん中の方に

攻守がいきが変わる

私は味の素ナショナルトレーニングセンターで女子ハンドボール選手の練習風景を見学しました。初めて知っておどろいたことが二つありました。一つ目はベタベタしている松やにを手につけ、ボールを滑りにくくすることです。でも手やゆかがよごれるため学生は両面テープなどをかわりに使うそうです。二つ目は、「スピーディー」ということです。アスリートだと時速100キロほどで投げるそうです。そんな速さのボールを体を使って止めるなんて、とても痛いだろうなと思いました。試合の展開も速いです。攻守がいきが変わり、流れが変わるのも見どころです。早くて3秒で点が入るところや点が入りやすいところ(1試合で40点のこと!)が、ハンドボールのみりよくだと、選手はおっしゃっていました。(小6/福田心美)



身長の高さもなんの
ハンドボールのデンマークの選手は背が高く、からだもがっちりしていました。日本の選手は背が小さかったですが、行動がすばやく、とても面白いテクニックでした。背の差はありましたが、デンマークの選手に勝っていました。日本の選手はいろいろな努力をしていると感じました。協会の方はルールを教えてくださいました。足を使えるのは、キーパーだけ。以前までサッカーにとても似ているスポーツだと思っていましたが、あまり似ていないのかなと思いました。インタビューでキルケリーさんからは、選手が楽しいと思える練習をする、と話していました。楽しい練習をしているのでどんどん練習をやりたくなっています。とても上手になるのかなと思います。(小5/田口暉那)

置き、シュートをさせにくくして置きました。協会の方の話では選手交代の回数が自由で、レフェリーに伝える必要もなく、コートに選手が7人いればよいそうです。とてもおどろきました。練習中、ボールをキャッチする時に滑らないように松やにをつけていますが、公式の練習中は、塗り直す時間がないためくっつけておき、それを手にぬるそうです。ボールがとてもベタベタしています。(中1/田口創牙)



相手に向かっていく多田仁美選手
—日本ハンドボール協会提供

長身、左利きが有利

女子ハンドボール日本代表の選手がデンマークの選手と練習試合をしていました。世界選手権のために背の高い方々を相手にしていました。ハンドボールで欲しいのは背が高く左利きの選手。背が高いと高いボールを、ブロックできます。シュートの時に左側だと右利きが、右側だと左利きが投げやすく、日本人は右利きが多いので、左利きが欲しいそうです。ハンドボールは学校でやったことがありますが、一流選手の動きはとても速く、体力の維持時間が長いのでとても尊敬しました。(中1/C・Y)

教育プログラム [よい、どん!]